

【国語科編】

1 家庭学習でできること

① (予習の仕方)

今回は家庭でも取り組みやすい、「読み物」と「漢字」にスポットライトを当てます。

(1) 読み物編 ～文学的文章・説明的文章～



A 文学的文章（物語文） **めあて 人物の心情の変化を捉えよう**

- 登場人物に線を引き、主人公とその他の人物を確認しましょう。
- 場面が移り変わったら、印（線を引く、マークを書くなど）を入れてみましょう。
→場面の移り変わりは、場所、時間、時代などが変わる部分にあります。
- どのような出来事があり、人物の気持ちがどのように動いているのか確認しながらもう一度読んでみましょう。

B 説明的文章（説明文） **めあて 文章の構成や、説明の仕方を捉えよう**

- 段落に番号を振りましょう。
- 文章の中の「問いかけの文」に線を引きましょう。
→「なぜ……だろう」「……だろうか」など、問いかけの表現を見つけましょう。
- 「問いかけの文」に対応する「答えの文」を見つけ、線を引きましょう。
- 「答えの文」に行き着くまでに、どのような説明がされているか確認しましょう。

(2) 漢字編

- 教科書の新出漢字を、「読み方」「熟語（＝その漢字を使った言葉）」をセットで覚えられるよう、漢字ノート等に練習していきましょう。
- 練習の際には、その漢字を使った様々な熟語を書いてみましょう。
(例) 逃……逃げる、逃す、逃走、逃避 / 封……開封、封印、密封、封筒

2 ポイント

◆ペンを握って読んでみよう。

なんとなく読むだけだと「斜め読み」となってしまう、頭には残りません。考えを整理しながら、教科書に印をつける、ノートに書き込む等の工夫をしていくと良いでしょう。



◆書けない漢字に時間を使おう。

すでに書ける漢字を何度練習しても、それ以上の大きな効果は望めません。一通り練習が済んだら、「書くときに手が止まってしまうがちな漢字」の練習に時間を割きましょう。

3 休校中だからこそできること

◆読書に挑戦してみよう。

ジャンルや本の難しさは問いません。読みやすそうなものを、自分のペースで読んでみましょう。最初の数ページを乗り越えられる本がおすすめです。読む力も育つ。お家の人にも褒められる。読書は最高の暇つぶしです。

◆情報を集めて書き溜めよう。

様々なニュースは飛び交う今だからこそ、気になるニュースを自主学習ノート等に書き溜めましょう。テレビ、ネット、新聞、雑誌、それぞれどのようなことをどのように報じているのでしょうか。情報を比較することで、様々なことが見えてきます。